

項目	観点	教科書名			
		新しい保健体育(2・東書)	中学校保健体育(4・大日本)	最新 中学校保健体育(50・大修館)	中学保健体育(224・学研)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するために、どのように配慮されているか。	・生活習慣病の起こり方について段階的に示している。COPD(慢性閉塞性肺疾患)やQOL(生活の質)をキーワードとして取り上げている。  ・全ての章において、章の始めに道徳科との関連が示されており、生徒の心情の変化に伴った行動の変化につなげることができる。  ・章末資料では、現代の社会や生徒の実態など、今日的な教育課題を取り上げている。さらに学びを深めていくことで、その後の健康・安全な生活や豊かなスポーツライフの実現につながるよう工夫されている。  ・偉人の紹介がされており、その偉業などが、現在の健康やスポーツの成り立ち等に大きな影響を与えていることを理解することができる。	・口絵で、健康を支える食事として、具体的な例があげられていたり、スマートフォンとの付き合い方として健康で安全な生活を送るための資料が掲載されていたりするなど、現代の中学生の実態にあった問題が提起されている。  ・第3章「健康な生活と病気の予防」での章末資料で、図や資料等を多く活用して、具体的な取組等を掲載している。  ・多くの単元で「リンクマーク」を示し、関連した内容を学習するページや、他教科とのつながりを分かりやすくしている。	・口絵で世界で活躍しているアスリートの写真や言葉での紹介を載せ、生徒の興味関心を高める工夫が見られる。  ・「する、みる、支える」のスポーツの多様な関わり方を、生徒の身近な例から取り上げることで、資質・能力を育成できるよう配慮されている。  ・健康診断やがん検診の内容について、図やグラフで示すとともに、ランニングを例に挙げ、スポーツの多様な楽しみ方について紹介するなど配慮されている。  ・QRコードからウェブサイトへアクセスすることで、関連情報を調べたり、動画で学んだりできるよう配慮されている。	・口絵ではスポーツの魅力、運動・健康面で世界で活躍する人、科学技術の発展とスポーツ、中学生に求められる食事の在り方、地域にある様々なスポーツ施設など多方面にわたって健康や運動に関する興味関心が喚起されるように工夫されている。  ・生涯にわたる心身の健康保持について、保健学習での学びを活用し、実践できるよう工夫されている。  ・世界のスポーツ、これからのスポーツ、スポーツの力など様々な視点からスポーツについて考えることで、スポーツと自己の関わりについて興味関心をもてるよう工夫されている。  ・各時間学習した内容と関連する仕事に掲載されており、生活との関連付けを強める工夫がされている。
2 内容の程度及び取扱いについて	○主体的・対話的で深い学びを実現するために、どのような工夫が見られるか。	・学習課題が分かりやすく示されており、課題意識をもちながら取り組めるようにレイアウトが工夫されている。  ・「見つける」における問いかけは、小学校の内容と関連しており、振り返りとして活用できる。また、「？」の問いかけは、健康課題や社会現象とリンクしており、身近な学習課題として、主体的に取り組めるように工夫されている。  ・「活用する」では、さらに学習内容を理解を深めるとともに、習得した知識・技能を活用し、より深く思考、判断、表現する活動につなげられるようになっている。  ・教科書とデジタルコンテンツがリンクしており、タブレット等を活用して授業を進行することができ、深い学びへとつながられる。他教科ともリンクしており、系統的・発展的な学習が展開できる。	・単元ごとに本文と資料を分けて左右のページに示されているため、本文と資料の参照性も高く、理解を深められるよう工夫されている。  ・「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」と授業での活動が各単元に具体的に示されていて、主体的に活動しながら進められるようになっている。  ・本文以外にも、「トピックス」や「ミニ知識」といった内容が示され、様々な気づきにつなげることができる工夫が見られる。	・教科書の使い方(つかむ、身につける・考える、まとめる・振り返る)を説明したり、各章で学ぶことを提示したりすることで、他者との交流ができるよう工夫されている。  ・各単元において、導入の発問(課題をつかむ・意見を出そう)や学習のまとめでは、意見交換ができるような工夫が見られる。  ・各単元で、「マーク」を使用し、本文の重要語句や、資料を読み取るためのポイント、他教科との関連、ウェブサイトでの調べ学習など、深い学びの実現に向けて工夫がされている。	・章の始まりには、学習の目的・学習の進め方、学習内容に関する情報が掲載されており、学習の見通しや興味関心もちやすいよう工夫されている。  ・保健編には「もっと広げる深める」項目があり、自らの学びをどう活用するか、考え実践することで深い学びにつなげることができるようになっている。  ・各章末には「探究しよう」が掲載されており、学んだことから興味関心を発展させ、深い学びへとつながるよう工夫されている。  ・本文以外にも多くの情報が、マークによってわかりやすく掲載されており、興味関心を持った内容を主体的に学べるよう工夫されている。
3 配列・分量	○主体的な学習を促すために、教材の配列・内容の系統性にどのような工夫がみられるか。	・章の始めに、「この章で学習すること」が示されており、系統性をもって学習に取り組める。その内容には、小学校で学習したことや高校で学習することも示されており、長期的な見通しをもつことができる。  ・1時間の授業の流れとして、①見つける②学習課題③課題の解決④活用する⑤広げるの5段階が1本のラインでつながれて示されている。主体的・対話的で深い学びとするための授業の流れが分かりやすく構成されている。  ・「？」の問いかけに対する読み物や資料が掲載されており、資料を活用しながら学習を進めることができる。	・「教科書の使い方」や「1時間の学習の主な流れ」が示され、学習の流れを理解し、見直しをもって学習を進めることができるように工夫されている。  ・章の始めに小学校、中学校、高校で学習する内容が明確に示されており、振り返りや見直しをもつことができ系統性がある。  ・「活用して深めよう」では、授業のまとめを行うことで、習得した知識を自分の生活に生かせるように、学びを深める工夫がなされている。  ・章末ごとに「学びを生かそう」と「重要な言葉」が掲載されており章の振り返りを行うことができる。	・3段階の学習過程で構成されており、単元のまとめでは、観点別に確認問題を設定し、主体的に学習を促したり、評価につなげやすくしたりするなど工夫がみられる。  ・小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを明記し、系統性をもたせ取り組めるようにしている。  ・感染症に関しては、3つの学習項目と特集資料を設けたり、咳のエチケットの行い方をイラストで大きく提示したりしている。  ・各章の最後に「特集資料」を載せ、健康の保持増進のために自分にできることを考えさせたり、スポーツとの関わり方について学ばせたりできるよう配慮されている。	・「学習の目標」⇒「課題をつかむ」⇒「考える・調べる」⇒「まとめる・深める」流れとなっており、主体的に学習が進められるようになっている。  ・章のまとめでは、見直しのテストのほか、理解度のチェックや学習したキーワードが記載されており、自らの振り返りが十分にできるよう工夫されている。  ・コラムが随所に掲載されており、より興味関心をもてるようよう工夫が見られる。  ・学年末には「〇年の学習の終わりに」が掲載されており、1年間の振り返りができるようになっている。
4 表記・体裁	○学習内容の理解を図るために、図やイラスト等の表し方にどのような工夫がみられるか。	・学習課題が大きく・太く明記されており、生徒にとって分かりやすく、取り組みやすいように表現されている。その学習課題の欄に、キーワードも記載されており、押さえるべき重要語句として分かりやすい。  ・写真・イラスト・デジタルコンテンツ等データが多く、生徒に学習内容を確実に身につけさせるための資料を随所に掲載している。  ・巻末に各資料の出典一覧が掲載されており、資料を活用しやすいように工夫されている。また、章末資料のページ数が多く、内容も豊富である。  ・写真やイラストの色が薄く、全ての生徒が落ち着いて学習に取り組めるように掲載されている。	・図やグラフ等は比較しやすいように上下や左右、色彩を工夫して掲載している。  ・イラストは、中学生を意識したものになっており、イメージを膨らませやすかったり、親近感をもって見ることできたりするような工夫が見られる。  ・各単元名の下に単元に関連する写真等が示され、単元をイメージしやすいように工夫されている。  ・心肺蘇生の方法の説明図では、技能を要する内容で、手順が初めから最後まで視覚的に見ることができるようになっている。	・本時の課題と自分の生活を振り返ることができるイラストや図を掲載し、学習課題がより身近に感じることができるような工夫が見られる。  ・図表に「よみ取る」マークが示されており、資料を読み取るためのポイントが提示されるなど、学習内容の理解を図るための工夫がみられる。  ・本文と資料を区分けするデザインで、学習内容の要素が一目で分かる。ユニバーサルデザインに対応し、書体や色使いなど誰にも使いやすいよう配慮されている。	・強調したい部分はイラストを使い、正確に伝える部分は写真を使用するなど、情報を整理した形で掲載されている。  ・学年ごとに主となって使う色が分かれており、各ページ同一色でまとめるなど見やすく工夫されている。  ・様々なマークやキャラクターが使用されており、分かりやすく・親しみやすく感じられるよう工夫されている。